

アートプロジェクト

未定

市民参加のかたち：展示鑑賞

本プロジェクトは、「日常のバグ」をテーマにした視覚体験型インスタレーションである。市内の未使用の空間をパラレルワールドとして再構成し、違和感を伴う新たな風景を提示する。観客は普段目を向けない空間に潜む「現実の不具合」に気づき、作品を通して自らの都市認識を問い直す機会を得る。視覚表現には角度によって像が変化するレンチキュラーパネルを用い、人の存在が不確かに映るよう設計。社会的には、非実用的となった建築空間の再評価と、手つかずの空間による都市の衰退という課題に光を当てることを目的とする。場所の利用者や訪問者に、日常に紛れた非日常を体験してもらうことで、都市と記憶の再接続を目指す。

沼田 侑香

1992年千葉県千葉市出身。2022年東京藝術大学大学院油画専攻修了。アイロンビーズ等の素材を用いてコンピューターバグをモチーフとした作品を展開している。主な展示として「百年後芸術祭」（千葉県市原市、2024）、「クリテリオム100 沼田侑香」（水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城県水戸市、2024）など。その他に、NIKE Jordan Brandでのコミッションワーク作品が渋谷の店舗「World of Flight Tokyo Shibuya」に展示されている。

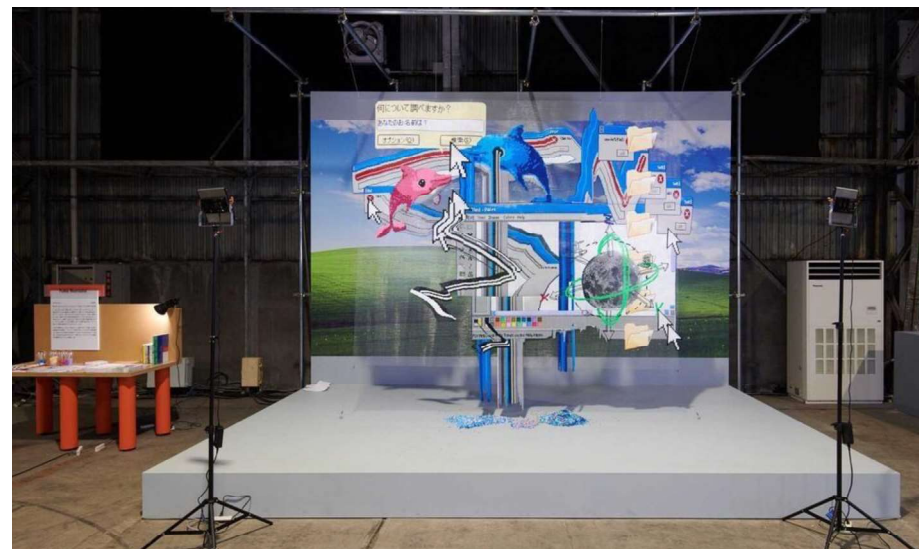


Photo: Shinichi Ichikawa